

# ミンク岡山情報

中国民放クラブ  
岡山支部  
2011. 04. 18

## 平成23年度 歩こう会春の例会

### 源平屋島合戦の古戦場

今年度の歩こう会春の例会は4月1日に参加者18名で源平屋島合戦の古戦場を散策してきました。午前8時41分岡山駅発のマリンライナーで春の瀬戸内海を渡り、高松



から琴電長尾線、志度線と乗り継いで古高松駅で下車、屋島合戦の古戦場10箇所を巡って八栗駅まで6キロ余りを全員元気に歩いてきました。

最初のポイント  
トは30騎あまりの源氏の奇襲部隊が海を渡って、合戦の口火を切ったとされる

上陸地点の赤牛崎。ここから見た屋島はまるで三角形のお結びを立てたようで、屋根のような形をした屋島のイメージとはほど遠いものでした。

赤牛崎から安徳天皇の行宮があったとされる安徳天皇社まで約2キロ、途中桜並木を通るルートを設定していましたが、残念ながらまだ開花には至らず、花見の期待は見事に裏切られました。



安徳天皇社で昼食、午後は屋島と五剣山の間を集まっていた古戦場跡をまわってめぐりました。現在は町になっていく古戦場跡は当時は海で、那須与一が扇的を射るとき、荒れる海の中の岩に駒を止めたといわれる駒立岩や折り岩、義経が流した弓を必死で拾い上げた所とされる義経弓流し跡などもかつては海の中だったことを教えてくれました。

この日は天気は上々で、桜の花が見られなかった無念さを十分に晴らしてくれた讚岐路を舞台にした春の例会となりました。

文責・谷本保夫

## OB会はじめのはじめ

「前略 五十九年三月末でRSKを退職した私たち五人で、同じ釜の飯を喰った仲間意識を持続する意味合いを含めて、交歓の会を持ちたいと思います。と言っても折にふれて集まるにしても、そうしょっちゅうは集まれないと思いますので、手始めは月一回、近況

を知らせあう「ハガキの便り」を交換することにより、お互いの動勢を知るといのはどうでしょう。ご賛同いただける方は、この月末までに、ハガキに近況を書いて、赤木宛お送りください。後程、みなさんのハガキはB4版1枚程度にコピーしてお配りします。興がのれば一同に集まって、お互いの健康管理の知識披露やら、孫自慢、趣味の交歓など親睦会も開きたいと考えています。いずれにしても、まず一枚、はがきのお便りを・・・」

と手紙を差し出したのがOB会の始まりです。下山昭、田代堅治、小河澄三、小野護の各同期生から折り返しががが到来。早速そのまんまコピーしてお配りしたのが、OB連絡紙の第一号です。好評でした。しばらく続きました。

その後すでに退社していた先輩OB、そして次々と退職する連中に声をかけて会員を増やしてきました。ささやかな茶話会や遠足なども催しました。そうこうしている内に中国民放クラブの発足があつて、一緒にやろうと声がかかり、今日の状態になったわけですから創立二十周年おめでとうとございます。

(RSKOB…赤木雄児)

## 中国ミンク発足のころ

広島からの呼びかけで、クラブと名の付く会合は何ぞやと半信半疑で、九十年(平成二年)一月二十六日広島島のホテルユニオンに、赤木雄児さんと小野護さんと私の3人が中国民放クラブ設立総会に参加しました。内容説明を聞きますと全国組織のOB会の如きもので、RSKにはOB会がないので、われわれ三人は意向に賛同し即座に入会しました。当日百名近い参加者(大半が地元広島の人)も殆んど入会し、会長に新広島テレビの初代社長金光さんに決まりました。

帰岡後はOB/OG達への勧誘、組織造りに奔走しました。もちろんOHK他にも呼びかけ、会員作りをお願いしました。

同好会は手始めにミンク岡山G(ゴルフ)会を発足させ、会も順調に続いており、先月は第七十四回目を空港ゴルフで実施、三十二名が参加。未だ寒波の残る中全員頑張られたようです。そのほか歩く会、旅の会(海外も含む)等も順次店開きしてゆきました。

会の進展に役立ったのは初代支部長の赤木さんの提案で情報誌の発行で、これが会員相互のコミュニケーションとかが催しの連絡に役立ち、後にはパソコンの普及とか紙からインターネットへと進んでまいりました。また会員の提案で放水会を月一回、会員自由参加で開催しているのも、会運営に役立っているものと思われまふ。岡山支部は他支部に比べてG会の会員数が多い、パソコンの普及率がN.O.1、他支部にない同好会がある(園芸同好会)等優秀な支部ですが、残念な事を一つ上げますと男性会員数は広島と肩を並べていますが、女性会員が非常に少ないことです。新支部長さん、女性会員増加キャンペーンを実施されては如何ですか！

乱筆乱文御免(RSKOB…長岡康祐)

## 同好会便り

### パソコン勉強会

若者が携帯電話でヤフー質問欄を利用して入学試験の坎ニングをしたという。このニュース聞いた時、頭の良い奴がいるものだと思った。どうやってやったのか、問題を送る、回答を受ける、インターネットがそこまで正確に早く対応してくれるのか。

以前はインターネットを利用するには大きなパソコンを必要とした、今では携帯電話さえあれば、試験場のような所で、人に見られないようにこっそりとインターネットが使えらる。携帯電話ではプリントができませんのでそれ以外のことはパソコンの機能と殆ど変わらない、いやそれ以上かもしれない、カメラや通信機能が付いている。

街なかで携帯電話を見ている若者を見かけることが多い。孫たちも暇さえあれば携帯電話で何かやっている、分身のような物である。携帯電話をパソコンの代わりとして使っているようだ。



私たちがパソコン勉強会もこれら携帯電話のことも勉強しなければならぬと思った。

来月から開催日時を第2週火曜日に変更しました。

5月10日(火) カンコン  
1 スタジアム第7会議室  
パソコン勉強会事務局 田淵 守

## 写真同好会からのお知らせ

◎春の撮影会：5月23日(月) 「半田山植物園」で実施します。(小雨決行)

・集合場所 … 半田山植物園正面ゲート(キップ売り場)の前

・集合時間 … 9時30分

・交通機関 … 自家用車(駐車場¥3000)・

・JR津山線「法界院駅」から徒歩15分

・岡山駅から三野公園行バスで「植物園口」・「水源

地」バス停より徒歩3分

\*. アクセスは各自で選択して下さい。

・撮影時間 … 午前中

・親睦タイム… 12時~13時30分(場所を移動して昼食会を予定しています。)

・参加費 … 無料(但し、交通費、食事代等は各自負担)

・申込〆切日 5月20日(金) 幹事(井垣)まで

\*. 詳細は、参加者に後日お知らせします。

◎ホームページ作品展：5月から「第36回」がスタートします。

・応募方法 … メール添付、郵送、又は直接手渡し等で幹事まで届けて下さい。

作品のサイズ及びデジタル容量、応募点数等に規定がありますので、初めての方は幹事までお問い合わせ下さい。

・応募〆切日… 毎月の第4水曜日

◎例会… 3ヶ月毎に岡山県生涯学習センターで開催しています。次回は4

月22日(金)に行います。(外部からのゲスト参加を予定しています。)

・集合場所 … ボランティア室(情報・創作棟4階)

・開催時間 … 午前9時30分~11時30分

◎. 会員数… 4月1日現在40名(内、女性3名)

※「撮影会」、「ホームページ作品展」、「例会」には、

会員以外の方もお気軽に参加して下さい。 お問い合わせ、ご意見、ご要望等は幹事まで。(幹事 井垣武彦)

## 眼からウロコが

### 白内障手術顛末記

齢(よわい)七十八にして始めてわが身にメスを入れた。場所は「眼」。二年くらい前から右目がやや霞んで来たのを我慢していたが、眼科医に診断してもらうと、やはり「白内障」で中程度まで進んでいるとのこと。手術すれば良くなる」と言われてその気になる。

普通の手術は五万円ほどですが、今は国保はきかないが最新の先進医療も受けられるとのこと。かなり高額なので老い先短いわが身に必要かどうか迷ったが、他県で眼科医をしている娘から「やりなさい」とはっぱをかけられ、思い切って先進医療を選んだ。その名は「多焦点眼内レンズを使用した水晶体再建術(白内障に係るものに限る)」。

まず悪いほうの右目の手術をし、一週間後に左目の手術をした。いずれも日帰りで、手術そのものは十五

分~二十分と短かったが、準備と術後の安静を加えて約三時間だった。



手術の時にはメスが見えるのではないかと恐かったが、そんなことはなく、強い光を見つめている内に終わり、痛くもカユクもなかった。

手術の翌朝には眼帯もはずされ、急に世の中が明るくきれいに見えてきた。鏡をのぞくと、そこにはシワとお迎えほくらういっぱいの老人の顔があらびつくり。

両眼の手術の終わった翌日には「放水会」にも出席三日目には車を運転して田舎のお墓掃除にも行ってきた。何の支障もなし。

この「多焦点レンズ」を使つての先進手術がうまく行けば遠くも近くも良く見えて、どちらのメガネもいらなくなるとのことだ。術後一週間を経た現在、テレビも遠景もぼつちり見える(視力1.0)。

しかし新聞、書物は読めるには読めるが、まだややしんどい。これもそのうちに良くなると医師に言われている。

こうして「眼からウロコがとれ」今まで手放せなかった二つのメガネも用なしとなった。

## 後楽園でお茶を

### 毎週水曜日後楽園島茶屋へどうぞ

後楽園へ来園の方々にお茶を立て始めて、四年目の春、この道に入るきっかけの場所が後楽園であること

を思い出している。

定年を控えて心のどこかに「濡れ落ち葉」という言葉が気になりかけていた九年前、毎年後楽園で開催されている楽西茶会(今年は四月十七日)、この年は武者小路千家宗匠の献茶の年であり、当流派の高松での世話人をやっていた叔父との再会で、叔父の「お茶をやったら」の一言に、後先を考える事無く「そうですね」と答えた自分を、この自然体でお茶を始めたのが良かったのか現在まで続いている。

このお茶との生活の中で、色々な手前を修得する楽しみ、甘党の私には全国の菓子を食べる楽しみ、まだまだ楽しみになっていない種々の分野がある中で、毎週水曜日後楽園島茶屋での奉仕として始めた時間が、今では自分にとって大切な楽しみになっています。



やはりお茶の最大の楽しみは人との出会いではないか!あの狭い室に入ると、見知らぬ人でも友になったように、一服のお茶で、打ち融けた雰囲気になった時の喜びと楽しみ、この楽しみ「常楽」を求めて、今後とも自然体でお茶をやっていくつもりです。一度後楽園島茶屋へお越しください。(RNCOB・山本稔)

## 大震災と

### 原発被害に思う

我が家の次女がフランス人と結婚して、目下シンガポールへ住んでいます。あの原発災害の二日後「すぐこちらへ避難するように」とメールを入れて来たことに、今回の災害の重さを実感したものです。

地震・津波の災害は三百年あまり前にもこれに類する規模のものもあつたようで、その歴史的教訓が薄れ

ていた事もあったのでは…という意見も聞かされず。震災は忘れたころにやってくる。の例えそのものなのでしょうか。

いま一つ、この大きな天災に加えて原発被害の問題は、戦後中曽根康弘が核武装を準備する地ならしとして読売の正力松太郎らと語り、「原子力の平和利用」をプロパガンダの口実に原発導入の口火を切った事に端を発した施策のなれの果ての政治的・人為的な災害であるということを経史の中のブラックホールとしてはっきりさせておくことが今大切だと思っています。

日本のノーベル賞受賞の嘘矢をきった湯川秀樹にも畏敬の念を持たれたといわれる物理学者武谷三男や在野の良心的科学者であった高木仁三郎達が原発の危険を叫び続けていた警鐘が、事もあろう唯一の原爆罹災国であるこの国で、今現実化している強烈な歴史の皮肉として痛く感じざるを得ないのです。

大江 健三郎が先ほど米誌「ニューヨーカー」に「世界で初めて罹災した広島島の原爆被害者への冒瀆だ…！」と寄稿している事に同じ感慨を禁じざるを得ませんでした。

戦争の時間をくぐって、戦後の復興期に時代に生きてきた我々のこれまでの在り方や、時代構築の理念や思考様式が正しかったのかどうか今問われているように思われてなりません。

古い路をたどるこの歳になって、改めてわれわれの生きた時代は何であったか…、と思う気分から抜け出さずにいます。

この頃の心境を書かせて頂きました。

さつき、「曾源寺に親しむ会」（会長・藤原隆昭…：RSK社長）の春の集いに出向いて帰ってきた所です。藤原社長が初めての会長役披露の会でもあり、その就任の言葉でこの寺と谷口初代社長の縁を織り込んでのよい挨拶となっていました。その後、柴田一就実大

災地へ出向いて来られて三十一日に帰られた講話を感銘深く聞いた会でした。今年、同寺の庭に咲くしだれ桜が今満開で、大震災気心彷徨い沈むこの一週間

の気持ちを慰めて拭ってくれるような時間を頂く一日となりました。

藤原社長が会長になられた事で、同会の事務局をRSKが受託し、我々の後輩の藤森君・井戸君が世話役で受付応節をしてくれていました。

(RSKOB…妻井 合三)

## 言葉の力〜白雲悠々〜

正直な処、もう四十五年も前のことになるのか？と自分でも驚いています。高校二年生の「秋の文化祭」

で「白雲悠々」と善かれた達筆な書と出会った時からです。昭和三十年代後半が小生の高校時代で「ビートルズ」が登場するやら「ベンチャーズ」がエレキサウンドを響かせるやら・あれやら・これやら…様々のやらやらの時代で、若者が時代のイニシアティブを持ち文化を創造していた頃です。昭和二十九年の東京オリンピックも高校時代。テレビもカラーになりました！開会式が行われた十月十日東京国立競技場は雨模様、ところが天気は急転し開会式直前に奇跡的な青空が広がったのです。そしてIVTV中継でNHKアナウンサーの第一声「世界中の青空が、ここ東京に集まりました！」の名言も生まれ、言葉の力って「スゴイ！」と思いました。ところで「白雲悠々」ですが、

校長先生が善かれたものだったのです。教職員の作品が発表されているコーナーで眺めていると「はまいえ君！気に入ったのかい？」と声を掛けて下さったのです。ちょうど団塊の世代が高校生の頃で、全校生徒の数も三学年合わせて千八百人程。担任の教師ならまだしも校長先生が私の名前を呼んで下さったことに少々驚いたのを覚えています。言葉の意味も聞かせて



下さいました。「真つ青な空に白い雲がポツカリポツカリと浮かんで、風にゆつくりと流れて行く様を想像して御覧なさい！おおらかな人生のようで良いもんだらう？」と。さらに校長先生独自の解釈？が続き「雲

は、やがて雨になり大地を潤し川になる。さらに川は海に流れ、また海から雲が生まれる。そして又大地を潤すんだ。雲ってすごいだろ！人もゆつくりゆつくりで良いから何かの役に立つことをしたいよね。」高校生だった小生の気持ちに「白雲悠々」という言葉

が強く刻み込まれたのは当然のことでした。その時からの付き合いになる言葉です。現在、大学で教鞭を執りながら感謝をしていることがあります。基本的な「言葉の力」を取って下さったRSKのアナウンサーの諸先輩です。よく怒られました！永野さん西本さん安田さん山県さん等々RSKには誇るべき「アナウンサー集団」がありました。後輩諸氏にも臥薪嘗胆訓練

あり、RSKのアナウンサーとしての歴史を刻んでいくって欲しいと願うと同時に「言葉の力」ってスゴイと思う今日この頃です。感謝！（RSKOB…濱家輝雄）

## まだまだ現場に

テレビの現場を卒業して大学に来て二年が過ぎた。マスメディアに行く学生が出てくれたらと、半ば挑発的に学生と格闘している。放送がいかに面白いのか、放送がこんなケースでも役に立っているのだと、ドキュメンタリーを見たりしながら話しかける。大教室での授業もある。「この野郎、出て行け」と怒鳴ってしま

うこともある。学生に悪気はないのかもしれないが、授業中でもべちゃべちゃやる。教えることに慣れた教員は後ろの席のそんな学生とは目を合わさず、前の方に座った学生たちだけに向かって話をするのだそうだ。そんな馬鹿な。「俺は柄が悪いんだ」と学級崩壊

に慣れた学生たちに立ち向かう。

「明日は会える。明日は夫に生まれた子供を見てもらえる。明日は会える」と特攻の妻が語る。ドキュメンタリー視聴の「生き死に」の場面にもおしやべりをしている学生がいる。「恥を知れ」と爆弾を落すことになる。その日の学生のエッセーに、「先生、よくぞ言ってくれました」といつりマークが書いてあったりする。人の気持ちを押し測り、弱者の痛みを感じ取れる感受性を持って欲しいと学生たちに言っている。

偉大なジャーナリストの先輩たちの話もする。「戦争と差別に反対する。なぜなら、幸せの最小の単位の家庭を壊すから」とは、かの黒田清さん。「常識は偏見に満ちている。偏見が人を傷つける」と本多勝一さん。「強いものと弱い者がいたら、弱い者の味方をする」と筑紫哲也さん。「3氏のポイントは同じ、機会が開かれた社会を発展させるのがジャーナリズムなんだよ」と私もつけ加える。

そんなマスコミの衰退が取り沙汰されている。「マスメディアが敗北した日」というのもその一つ。尖閣沖の中国船体当たり映像の流出がなぜユーチューブだったのか。「ジャスミン革命」ですっかり表舞台にでたソーシャルネット。それでも、3・11の大震災報道でのテレビの頑張りを応援しながら見守っている。ジリジリする思いに「月初めには、岩手の被災地に入ってきた。まだまだ現場に立ちたい私がいる。」

(RSKOB…曾根英二)

## ―会員便り―

支部総会出欠はがきから

足腰がすっかり弱り、外出がままならなくなり、欠席いたします。(RSK…赤木雄児)

七月に満八十二歳になります。まさかこんなに生きさせていただけるとは思ってもいかなかったが、これらひとえに民放クラブ皆様のお支えのおかげと感謝しています。(RSK…芦原俊郎)

四月からもニュース、スポーツ中継の手伝いをして



でホームシアターを楽しんでいます。映画、オペラ、ニュースまでも使用しています。視力が年齢と共に落ちたので、スーパールの文字が見辛くなったためです。身体のほうもアチコチがたが来ています。ウォーキングとまではいきませんが、毎日少しだけやっています。(RSK・桐野展行)

東北関東大震災で被災された方々の事を思うと言葉がありません。私も五年前に火事と言う災害に会い、あの時の事を改めて思い出しています。家族の者が今こうして立ち直れているのは、あの時声をかけてくれた民放クラブの仲間たちをはじめ多くの友人でした。私の声を直接被災者の方々に届ける手段はありませんが、あらゆる手段で声援と物を届けたいと思っています。「お互いさま」の気持ちと共に！頑張ってください！(RSK・久米田眞志)

毎朝三十分で時事川柳三句を作る粗行も四年目に入ります。スムーズに作れていますので当分いけそうです。そしてジム通い。エアロバイク踏んでエアロビをやっています。二十年目を迎えます。黒一点でがんばっています。(RSK・黒川隆紀)

東北関東大震災・・・この年齢まで生きて、こんなむごい事実を見て、ただただ悲しいです。小中高を福島で過ごしましたので、友人が沢山居ますが無事が判明したのは2〜3名です。日本人が戦後失ってきたくさんのものを、これから長い時間をかけて是非取り戻し再生して欲しいと祈る思いです。(RSK・黒崎美和)



しています。葬儀に際しては大変お世話になりました。(RSK・小西弦)

ウィークデーは家業の仕事です。申し訳ありませんが欠席させて頂きます。(RSK・佐藤清)

最近病院通いも多いが、毎日一万歩以上の散歩を楽しみ、健康に留意しながらの日々です。(RSK・しのはら ますゆき)

一月中旬、女房が左手首を骨折したため、家事一切と病院への送迎をやっています。(RSK・白石脩)

毎日元気で多忙を極めていきます。(RSK・須々木壽志)

東日本大震災の惨状を見聞きするにつけても、岡山に生まれ暮らせることの幸せを今更ながらしみじみ感じています。四月九日は母の忌日、千の風を身に受けながら、健康に感謝しながら、畑仕事に精出す今日この頃です。(RSK・妹尾信秀)

身辺ただならず。残念ながら出席できません。(OK・鷹取洋二)

総社市の交通指導員等のボランティア活動を少しばかりしております。前期高齢者ですが、お寺の総代を依頼され、まだ早い気もいたしますが引き受けさせてもらいました。土曜日曜日に二時間ほど地元の間とテニスをしております。また妻と二人で旅行を楽しんでいます。OB会の会合やイベントにも出来る限り参加させていただきたいと思っています。(RSK・高谷昇)

体調不良のため失礼いたします。(RSK・甲田敏明)

本社(RSK)とRSKランド、RSKハウジングプラザと三つのデスクがあり忙しくしています。趣味の錦鯉は全日本愛鯉会の岡山県支部長をしており、これも審査員や会合も多く、仕事と調整しながら忙しくしています。個人的には十二月に私がガンの手術をして、そして一月〜三月初旬までに親三人とおじ二人の葬儀で、これも5×4=20日間程仏事で忙しく

二年目に入りました。一年間にの記録を調べて見ますと、4, 244, 359歩歩いていました。一日平均で11, 574歩、歩幅65センチとして7.5キロを歩いたことになりました。おかげで糖尿病の数値も順調に下がりが、あとわずかで予備軍に格下げになりそうです。(RSK・谷本保志)

介護老人をかかえてドタバタしています。(RSK・玉木邦夫)

頭の老化はいかんともしがたく、ゴルフもテニスも不注意によるミスを繰り返して、思い通りの結果が出なくなりしました。身体はそれなりに動いているので、はがゆい思いをしている今日この頃です。(RSK・対梨久嗣)

昨年からは始めたヴェジタブルプランナーでの野菜作りが軌道に乗り、ほうれん草、小松菜、カブ、青ネギ、ビタミン菜、春菊等々、昨年末から現在まで美味しく食している。現在は4種のイチゴの花が咲き始め受粉に精出している。四月にはトマト、キュウリ、ナス、スイカなどの植え付けにはいる。昨年は20個も収穫した大字つくりのイチジクも植え替えを終了した。野菜の種まきも来週には行う予定である。すべてプランター栽培である。(RSK・富山捷彦)

毎日機嫌よく元気に過ごしています。しかし自分の意思に拘らず、天上のどなたかの意向で生かされているのではと感じる今日この頃です。(RSK・豊田新一)

少しは社会貢献をと思いつく無為徒食です。せいぜい町内会の世話をする程度でお茶をにこしています。(RSK・永岡恒二)

何とか元気で頑張っています。(RSK・中山圭一)

ズルズルと仕事を引きずっていましたが、昨年末で終止符を打ちました。今は菜園とゴルフ、釣り等を楽しんでいますが、東北関東大震災以後はゴルフを控えるにしています。一日も早い復興を願いつつ「平穩無



事」がどんなに幸せなことをひしひしと感じさせられました。頑張れ東北！(山陽映画・八田典郎)

当日は残念ですが大学の授業となっており欠席させて頂きます。昨年から月々金までが大学勤務になり、網渡りの毎日を送らせてもらっております。そして感謝の思いで若者との毎日を過ごしております。(RSK・濱家輝雄)

私はシンプルな生活を心がけ、米寿を迎えた母親の介護に専念しています。(RSK・平田勇雄)

今年も倉敷フォトミユラル(Photomirall)に係っています。フォトミユラルは二〇〇四年から始めて八年目に入ります。全国公募した写真を一人の写真評論家の眼を通して選び、最大で2.9×3.7mの布に染色プリントし、晩秋、倉敷駅前のアーケード街に吊り下げ展示します。このプロジェクトは十年で終了します。(RSK・平田悠)

相変わらず週一回ペースでゴルフをやっております。後期高齢者になりましたが、体力の続く限り頑張りたいと思っております。(RSK・広瀬幹)

当日はグループで展示会の搬入展示をしているため、残念ながら欠席させていただきました。(RSK・筆保博文)

少し働いて(本人はそう理解しています)大いに楽しんでます。相変わらずハムとラジコン三昧です。(RSK・松田憲司)

日常には週一回の操山ウォーク。その他の日も三十〜六十分のウォーキングを続けている。月二回のカルチャーの水彩画。春・秋は戶外写生を楽しんでいます。月一〜二回のゴルフ。ミンクゴルフ会では高H・Cのうちにもう一回(三回目)の優勝を狙っているが、現実には厳しい！ライバルも多い。(RSK・松田通男)

おかげ様で元気に暮らしています。毎年一〜二回上京、古い友人知己との交遊を楽しんでいます。昨年十一月には元RSKアナの榊原陽一郎、石津泰子(旧

終止符を打ちました。今は菜園とゴルフ、釣り等を楽しんでいますが、東北関東大震災以後はゴルフを控えるにしています。一日も早い復興を願いつつ「平穩無

姓富永さんの二人と九段会館(旧軍人会館)で会食、ビールを飲みながら昔話に花を咲かせました。二人とも元気で「元RSKの皆さんよろしく」と言っていました。(RSK:松本 颯)

右目の白内障手術をやりました。愚妻が先にやったのですが、残念ながら却って視力ダウンとなり、心配でしたが、よく見えるようになりほっとしています。スケッチもゴルフも楽しみです。(RSK:間野孝彦)

創立20周年おめでとうございます。岡山支部もRSKOB有志の方々の積極的協力での日を迎えることが出来たと感謝しています。今後ともよろしくお願いします。(OHK:ミキ栄二)

厳しい病をそろって体験した九十代の父母を見守る日々です。社会貢献も少しやりました。荒れ果てていた小神社の祠(ほこら)を地域力を集めて修築しました。ゴルフはシルバートレーから打てるので、信じられないスコアが出ることもあります。(RSK:水川勝彦)

今年退職後10年目を迎えたが、今まで何思うことなく何することなく、ただ年月だけが過ぎた感じ・・・節目の今年から少しだけ変化してみようかと思っはいますが・・・小生根が横着モンで、又染なほうに流されてしまわない様に心して・・・。(RSK:守安英士)

私は四月より地域密着型の特別養護老人ホームに勤務することになりました(入所するのではありません)。先に勤めていた特養が七月に新規施設をオープンすることになり、開設準備室からの参加です。歳が歳ですから(昭和十七年生まれ)長期間は無理ですが、文字通り「最後の」奉公」にならると思ひます。四月からの勤務なので休みを取ることができませんので十八日は欠席させて頂きます。(OHK:安井清)

勝手ながら体調不良のため欠席します。パーキンソン病という病魔に取り付かれて闘病中です。(RSK:柳井宣三)

昨年末とうとう八十歳の太台に突入してしまいました。年齢相応の疾病をいくつか抱え、医者通いが多くなりましたが、幸いにも大病だけは免れています。健康の許す限り民クとのつながりは大切にしていきたいと思っはいます。(RSK:山内英夫)

病院通いは続いておりますが元気で。一昨年発覚の糖尿病も薬で安定しております。(RSK:山崎文隆)

東日本大震災には驚きと共に人事でない思いを感じています。東京と茨城に住む兄と弟は無事でしたが、これからまだまだ不安な日々が続くそうだと感じているようです。計画停電という言葉はじめて耳にし、戦後まもない頃を思い出したみたいです。(RSK:山田伸二)

お茶とゴルフを楽しんでいます。(RNC:山本稔)今年も去年に続いて岡大農の「夏野菜」講座を受講します。毎週水曜日が開校日です。放水会は九月まで欠席です。すみません。因みにOh!友会



(OHKOB会)も毎月第二水曜日なので残念ながら参加できません。四月から新たな挑戦として俳句講座を受講します。(OHK:行本章允)

今年に入ってから第一火曜日に別の予定が入り、パソコン勉強会をお休みしています。日程が合えばバスや電車での日帰り旅や飲み会などに出席させて頂くつもりです。でも今月末から二女と孫たちと同居する事になったので、益々忙しくなりそうです。(RSK:横田真理子)

四月で町内会の方も役が終わります。またよろしくお願ひします。(RSK:吉岡猛)

晩酌の酒量を気にしつつ、健康第一をモットーに日々過ごしています。(RSK:若槻匡志)

昨年の健康診断で血糖値が高く、要注意のお墨付きをいただき、飲食・外出を控えています。四月十八日

から六日間留守をしますので失礼します。(OHK:渡辺昭朗)

三・一一大震災で、自分自身のまわりの日常が平々凡々であることに対して見方が変わりました。これまでも変わらぬ日常が続けられることに感謝しています。(?)

(在職局名の「元」および出欠挨拶など割愛しました)

## 海嘯

菅田(一)郎 (RSK)

海割れて一家団欒夢無惨

大丈夫言われるたびに増す不安

人間の造ったものに手を焼いて

原発に向かう夫に妻無言

福島に人間魚雷の悪夢見る

まる投げに下請けの怪我傷深し

政治家の音量高く吹けば飛ぶ

とりあえず全力尽くすと言っておく

何してもパフォーマンスのお人柄

避難所で命を捨てる国日本

涙眼の牛を横目に乳捨てる

十日ぶり湯浴みする兎に笑顔の灯

合掌

## 会員動向

(手続き中を含む)

入会:

秋政孝一さん (RSK OB)

佐藤 清さん (RSK OB)

南部年克さん (RSK OB)

山本 純さん (RSK OB)

退会: 竹原 均さん (RSK OB)

関西地区へ引越されました

小原啓司さん (山陽映画 OB)

## 同会



編集後記

今回は、会創立二十周年ということで、長岡さん、赤木さんとその頃の事を語っていただきました。またそれぞれ多彩な原稿、葉書による近況も多く集まり、充実した機関紙になりました。ありがとうございました。

東日本大震災は、しばらくは言葉も出ない衝撃でした。重苦しい雰囲気支配している中、この会を通じて会員皆様の日常が少しでも充実したものになれば良いと思っはいます。(S)